01 TOP MESSAGE
トップメッセージ

当社は『ヒトと地球（ホシ）の、明日（あした）の笑顔をデザインしつづける。』をパーパスとし、これまで培ってきたお客様に寄り添ったソリューション提案力と、総合アパレルグループとしてのノウハウ、チームマーチャンダイジングを活かしてお客様や世の中に新しい価値を提案する事により、笑顔を生み出し続けていきたいと強い意志を持って活動しております。
サステナビリティへの取り組みについては、2021年度より17のマテリアリティ（重要課題）を特定し、目標達成に向けて推進しております。2年目となる2022年度は、専任部門を新設して取り組み強化を図りました。

Environment（環境）

2022年度は、環境負荷低減（素材や梱包資材）の取り組み、東京本社ビルの電気の再生可能エネルギーへの移行が出来ました。また、廃材利用のリメイクアッププロジェクトや産官学連携の高校生版ビジネスコンテストに参画するなど、シンボリックな活動が目立った一年でした。2023年度は環境マネジメントシステムの整備や脱炭素社会実現に向けた取り組みも推進して参ります。

Social（社会）

働き方の多様性への対応として、サテライト型シェアオフィスや副業制度の導入、育児・介護時短勤務もしくは休業制度の利用等を推進して参りました。また、性的マイノリティの正しい理解と意識・行動変革を促すため、全従業員向けのLGBTQセミナーを開催しました。人権課題への取り組みについては、従業員向けセミナーおよびワークショップを実施し、サプライチェーンにおけるCSRアンケートを展開しました。
2023年度も引き続き、年齢、性別、人種・国籍、宗教、障がい、性的指向、性自認等による差別やハラスメントの無い職場環境づくりに努め、ダイバーシティ・インクルージョンの実現に取り組んで参ります。また、サプライチェーンにおける実効性及び責任のある人権デュ―デリジェンスの運用にも注力致します。

Governance（ガバナンス）

2022年度は2021年に認証を受けたプライバシーマークの更新による研修を開催しました。また各ハラスメント、下請け代金支払遅延防止法（下請法）、知的財産権（著作権・肖像権）等の研修も実施致しました。2023年度は内部統制システムの整備にも取り組んで参ります。

サステナビリティ方針及びマテリアリティを策定して2年が過ぎました。なぜサステナブルへ取り組むのか、どうすれば目標達成するのかについて、徐々にではありますが従業員一人ひとりが自分ごととして取り組み始めているように感じます。この流れ、変化、従業員の意識をよりダイナミックなものにすべく、様々なアクションを講じて参ります。また、目標達成にはお客様やお取引先様といったステークホルダーの皆様との共創が必要不可欠です。継続して個人、個社では解決不可能な課題への取り組みを、様々なカタチのパートナーシップを発揮して推し進めて参ります。

2023年 8月
代表取締役社長　**村上 哲**